

湖北広域行政事務センター

# 新一般廃棄物処理施設整備運営事業

## ごみの減量化とプラスチック製容器包装・発泡スチロールのサーマルリサイクル

センターは、長浜市・米原市内から発生するごみの収集・運搬・処理をしています。

### ごみはどうやって集めて処理しているの？

センターでは、ごみの減量化やごみ分別、ごみの収集・処理方法に関する施策を定める湖北広域行政事務センター一般廃棄物処理基本計画を策定し、各施策を実施しています。

### 今の計画は、いつ作られたの？

現在の計画は、平成 30 年から約 1 年 4 か月をかけて見直しを行いました。計画に盛り込むごみ減量化施策や令和 10 年度に稼働を計画するごみ焼却施設で処理するごみの種類の見直しについて、湖北広域行政事務センター廃棄物減量等推進審議会に諮問しました。

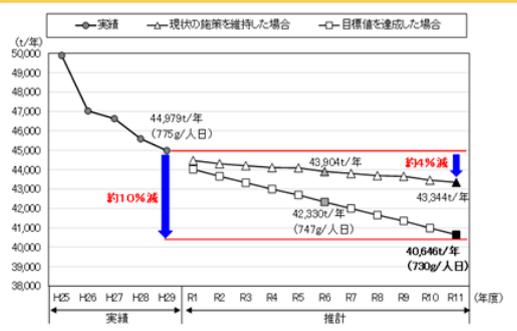
- 平成 30 年 8 月 審議会に諮問
- 令和元年 12 月 審議会から答申
- 令和 2 年 1 月 計画改定

**マテリアルリサイクル**  
プラスチック製品原料として再利用することです。

**サーマルリサイクル**  
ごみを焼却した時に発生する熱エネルギーを回収し再利用することです。

### 新たなごみ減量目標～ごみ総排出量編～

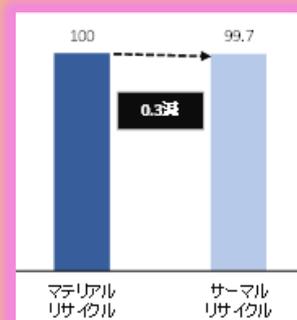
令和 11 年度までの 10 年間で長浜市・米原市内から排出されるごみ総排出量の **10%削減** を目標としています。センターは、**3R** のうち **2R (リデュース・リユース)** を強化していくことで、持続可能な社会の構築を目指すものとしています。



皆さまのごみ減量へのご協力が不可欠です！

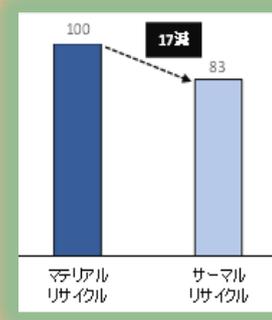
計画では、新たなごみ焼却施設の整備にあたり、プラスチック製容器包装と発泡スチロールをマテリアルリサイクルからサーマルリサイクルへの転換について環境性や経済性等を評価することで検証。**検証の結果、環境への負荷は現状とほぼ同じ、経済性はサーマルリサイクルの方が優れていることなどを踏まえ、センターは、プラスチック製容器包装と発泡スチロールの分別区分を令和 10 年度から可燃ごみに変更し、サーマルリサイクルを推進していくこととしています。**

環境性 (CO2 排出量)



マテリアルリサイクルで発生する CO2 排出量を 100 として比較

経済性 (収集・運営費)



マテリアルリサイクルの年間運営費を 100 として比較